

当社は、2013年度から「ISO26000 社会的責任に関する手引」に準じた社会的責任マネジメントシステム（以下、SRMS という）の構築並びに改善を継続しています。

このSRMSの基本的な性格は次の通りです。

- （1）当社の持続可能な発展への貢献を助けることを意図としていること
- （2）法令順守を超えた活動を奨励するものであること

これに基づき、CSRに関する基本事項を定め、適切に運用することにより、法令及び社会的責任の観点から定めた各種ルールの順守徹底と、社会的信用の向上を図っております。

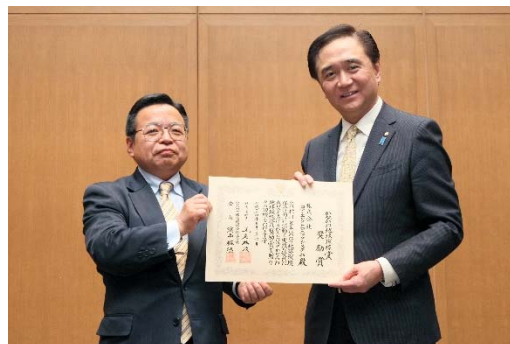
現在までに、取り組んできた主な内容は以下の通りです。

1. 環境への取り組み

- 省エネ活動

2014年度より「Fun to Share」の主旨に賛同し、2011年度から継続している省エネ活動を通じて、低炭素社会の実現に貢献をしております。

その継続して行っている省エネ活動が認められて、平成24年3月26日に神奈川県より「かながわ地球環境賞 奨励賞」を表彰して頂きました。



2. 顧客エンゲージメントの向上活動

- 改善提案制度

2014年度より改善提案制度運用規程を定め、従来の成り行き任せの活動から積極的参加型へ移行致しました。各部門では年度初めに目標を掲げ、達成するために月次管理と運用を行っています。

- 自己啓蒙活動

2014年度より自己啓蒙活動制度運用規程を定め、マンネリズム化した活動から積極的参加型へ移行致しました。その際に、今までの活動内容8項目（営業活動、5S+1M活動、目標達成、労働安全衛生、品質、情報セキュリティ、節電、レベルアップ）に社会貢献の項目を追加し、9項目と致しました。各部門では年度初めに目標を掲げ、達成するために月次管理と運用を行っています。

- 個人情報保護マネジメントシステム

2013年度より個人情報保護マネジメントシステムの運用を開始し、2014年7月1日に第三者認定機関である特定非営利活動法人日本個人・医療情報管理協会より、JAPHIC マーク認定を付与され、現在まで継続更新しております。

従来活動してきた情報セキュリティがより強固なものになったとともに、内部監査体制や委員会を設置したことにより、ケーススタディや代表者見直し会議等において、部門間の壁を越えた繋がりができ、知識・知恵の交流が生まれています。



3. 従業員エンゲージメントの向上活動

- 次世代育成支援行動計画

100人以下の企業には届出義務はありませんが、従業員エンゲージメント向上の観点から2010年度に第1回目（計画期間3年）、2013年度に第2回目（計画期間5年）の一般事業主行動計画を労働局に届出、活動を継続させています。「次世代認定マーク」の取得までは至っておりませんが、取得に向け日々工夫改善を行っております。

- 労働安全衛生マネジメントシステム

2014年度より安全衛生推進者を選任し、労働安全衛生マネジメントシステムの構築を開始させました。リスクアセスメント活動及びお得意先の安全衛生協議会メンバーとして「安全週間」、「衛生週間」並びに「年末年始無災害運動」活動への積極的参加を行っており、安全安心な職場環境作りを推進するとともに、お得意先の標語コンテストでは数多くの表彰状を頂いております。

また、社用車が5台になったのを機に、2015年度より安全運転管理者を選任及び県公安委員会に届出を行い、運転者の健康管理、適性、技能、知識及び法令等遵守状況の向上に努めております。

- かながわ健康企業宣言及び横浜健康経営認定の取得

2016年9月の健康経営セミナーへの参加をきっかけに、企業にとって従業員の健康維持・増進を行うことは、医療費の適正化や生産性の向上、さらには企業イメージの向上等につながることであり、そうした取り組みに必要な経費は単なる「コスト」ではなく、将来に向けた「投資」であるととらえ、積極的に関与していくこととしました。まず、2016年12月に「かながわ健康企業宣言」を行い、「よこはまウォーキングポイント事業」に参画すると共に「横浜健康経営認証」にも申請を行いました。そして、2017年3月に「横浜健康経営認証 Aクラス」を取得致しました。これからPDCAサイクルをしっかりと機能させ、更新時には更に上位のクラスを目指します。



- ポジティブ・オフ運動への賛同と横浜市勤労者福祉共済（愛称：ハマふれんど）加入
2016年度より「ポジティブ・オフ」運動への賛同と共に、横浜市勤労者福祉共済（愛称：ハマふれんど）に加入し、休暇制度を改善。その上で、社内メールを活用し、従業員に休暇取得と外出・旅行等の実施を啓発及びサポートしています。

POSITIVE ☺FF



4. 地域社会への取り組み

- 横浜型地域貢献企業認定の取得

本制度は、横浜市による CSR 認定制度で、地域を意識した経営を行うとともに、本業及びその他の活動を通じて、環境保全活動、地域ボランティア活動などの社会的事業に取り組んでいる企業等を、一定の基準の下に「横浜型地域貢献企業」として認定し、その成長・発展を支援する制度です。

当社は、CSR に関する取り組みが評価され、平成 26 年 9 月 24 日に取得し、平成 28 年の更新審査において、「最上位」認定にランクアップできました。



YOKOHAMA
地域貢献企業



- 横浜市水道局殿の「水のふるさと道志の森基金」への寄附
微力ながら、水源保全活動の主旨に賛同し、道志水源林ボランティア活動を支援するため、2013 年度より定期的な寄附を行っております。
- 横浜 FC 殿の「あしながドリーム基金」への寄附
2015 年度より、横浜 FC 殿が神奈川県内の小学校や養護施設の子供たちを招待することを通して、地元の子供たちにサッカーを通じて夢を与えることに賛同し、シーズンシートを購入致しております。
- 「よこはま子どもアントレ博実行委員会プロジェクト」への寄附
『「企業やまちの企み・試みに、すべからく子どもや若者が関わることで、まちがより面白くなり、また同時にひと（子ども達や若者）も育つ」ということを、横浜にカルチャーとして根付かせたい。』という想いに賛同し、寄附を行いました。

平成 29 年 04 月 05 日
株式会社コア・エレクトロニックシステム
CSR 推進委員会